

## セブン-イレブンはアマモ場づくりを推進しています 『Jブルークレジット・カーボンオフセット』に参画

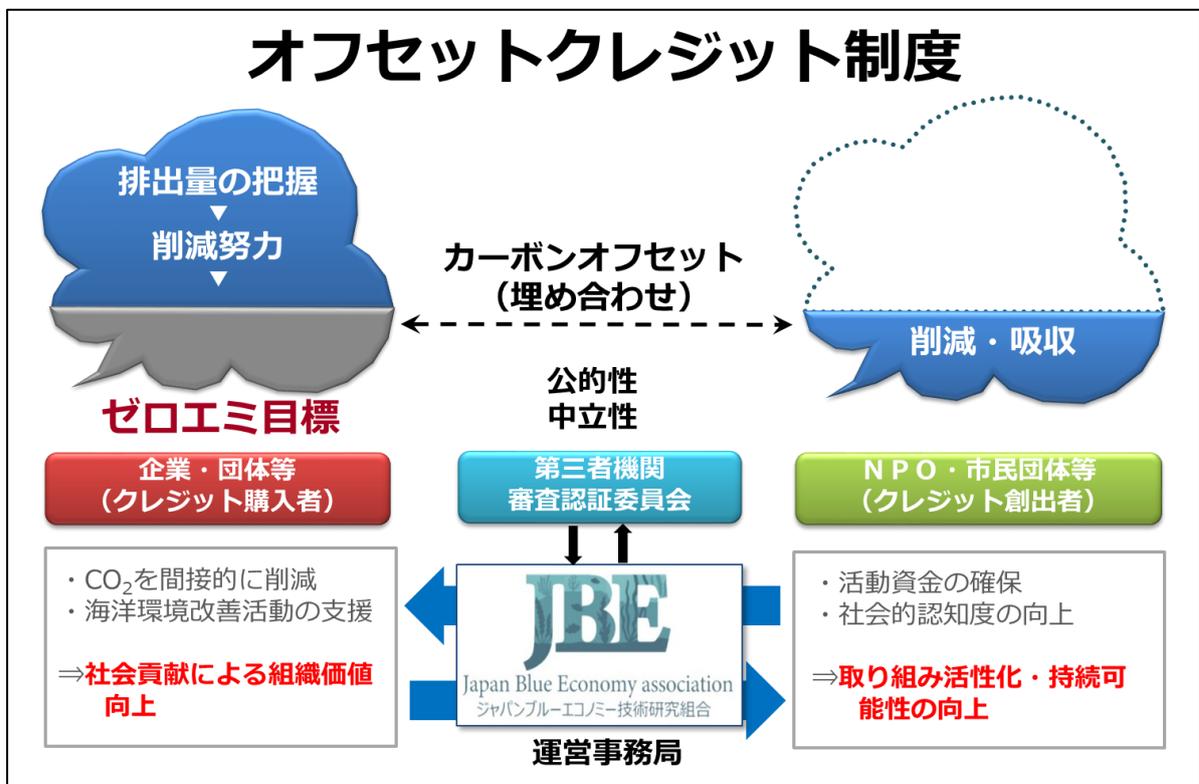
株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦、以下：セブン-イレブン）は、国土交通大臣認可法人である「ジャパンプルーエコノミー技術研究組合」が発行する『Jブルークレジット・カーボンオフセット』に参画いたします。

セブン-イレブンでは、これまでも一般財団法人セブン-イレブン記念財団（以下：セブン-イレブン記念財団）を通じて、水質浄化や CO2 削減に役立つアマモを増やして、東京湾を豊かな海に再生する活動に2011年度から取り組んでまいりました。

またセブン-イレブンでは現在、再生可能エネルギーの利活用や省エネ設備の導入などを進め、CO2 排出量の削減に取り組んでおります。これらの取り組みに加え、今回の『Jブルークレジット』購入を通じ、クレジット創出者である横浜港における藻場づくり活動の取り組みの活性化・持続可能性の向上に繋げ、更なる CO2 排出量の削減に寄与してまいります。

セブン-イレブンではこれからも、セブン-イレブン記念財団とともに、森・里・川・海の豊かな恵みを次世代へつなげる活動を支援してまいります。

＜制度概要＞



ジャパンプルーエコノミー技術研究組合のホームページ  
<https://www.blueeconomy.jp>

<ご参考>

◎セブン - イレブン記念財団

店頭に寄せられたお客様からの募金と、セブン - イレブン、企業、団体、個人の皆様からの寄付金をもとに、環境市民団体への支援活動をはじめ、様々な環境活動を行っております。セブン - イレブン創立 20 周年記念事業として加盟店とセブン - イレブン本部が一体となって環境をテーマに社会貢献活動に取り組むことを目的に 1993 年に設立されました。



※店頭募金箱

◎東京湾 UMI プロジェクト

(東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト)

セブン - イレブン記念財団は、水質浄化や CO2 削減に役立つアマモを増やして、東京湾を豊かな海に再生する活動に 2011 年度から取り組んでまいりました。アマモは、海中の栄養を吸収し、酸素を放出することで海水を浄化する海草です。アマモやヨシなどの藻場や、干潟、マングローブ、プランクトンなどの海洋生物も、森林などの陸上生物と同様に二酸化炭素 (CO2) を吸収しています。

この吸収された炭素を「ブルーカーボン」と呼んでおります。2011 年 6 月に「東京湾再生アマモプロジェクト」を開始し、2013 年 9 月 30 日からは、東京湾の環境改善に取り組む国土交通省港湾局の「東京湾 UMI プロジェクト」に協力し、横浜港においてアマモ場の再生活動に取り組んでいます。アマモが海を浄化し、CO2 削減に役立つことを期待して活動しています。



※アマモの種

◎セブン - イレブン記念財団による東京湾アマモ場再生活動の歩み

実施日	回数	活動場所	活動内容	人数
2011年6月5日	1回	神奈川県横須賀市走水海岸	アマモの花枝採集、水産技術センター水槽に移植、海洋生物の観察	25名
2012年6月16日	2回	神奈川県横須賀市走水海岸	アマモの花枝採集、地引網を引き、海洋生物の観察	40名
2013年5月26日	3回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモの花枝採集、潮干狩り	79名
2013年11月16日	4回	神奈川県「横浜港ベイサイドマリーナ」	種子を年度に入れたアマモ団子を作り、海中に植えるアマモの播種	63名
2014年6月14日	5回	神奈川県「横浜港ベイサイドマリーナ」	アマモの花枝採集、アマモのレクチャーと海洋生物の観察	66名
2015年6月6日	6回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモのレクチャー、アマモの花枝採集、海の生き物観察	103名
2015年8月1日	7回	神奈川県横浜漁協栄支所	アマモの種子とり	79名
2016年5月28日	8回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモの花枝採集	117名
2017年5月27日	9回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモの花枝採集、地引網を行い海洋生物の観察	140名
2018年6月16日	10回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモの花枝採集、地引網を行い海洋生物の観察	60名
2019年6月16日	11回	神奈川県横浜市「横浜海の公園」	アマモの花枝採集、地引網を行い海洋生物の観察	170名
合計				942名

以上